

(5)黄 (6)色の3原色

問 $1024 \times 640 \times 24 = 15728640$ (ビット)

$15728640 \div 8 \div 1024 = 1920$ (KB)

- 2 (1)ピクセル画像 (2)ベクター画像
- (3)ペイントソフト (4)ドローソフト

- 3 ピクセル画像: BMP GIF PNG JPEG
- ベクター画像: SVG

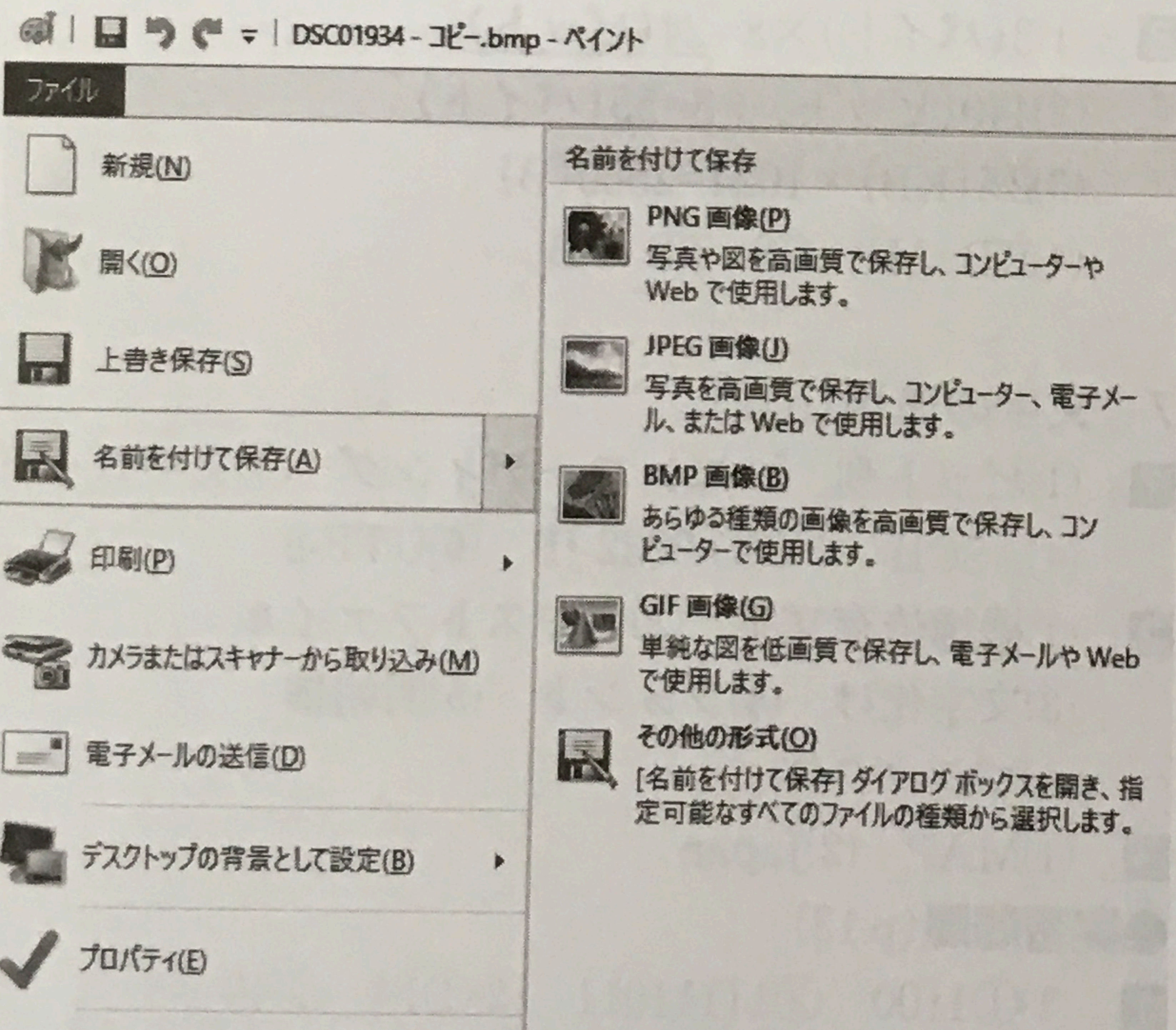
●実習問題(p.15)

- 1 (1) $150 \times 250 \times 24 \div 8 = 112500$ (B)
- (2) $600 \times 800 \times 24 \div 8 \div 1024 = 1406.25$ KB
- (3) $1024 \times 768 \times 24 \div 8 \div 1024 = 2304$ KB
- (4) $8^3 = 512$

2 略

[解説]

デジタルカメラの画像ファイルをペイントソフトで開き、メニューの「名前をつけて保存(A)」を選択して適当な名前をつけ、サブメニューに表示される各形式(BMP形式, GIF形式, PNG形式)を選んで保存する。保存したら、メニューの「プロパティ」を選択するとディスク上のサイズ(データ量)が表示されるので、表示された値を書く。なお、デジタルカメラの画像は、たいていJPEG形式なので、ペイントソフトを開いてそのままデータ量をプロパティで読めばよい。



ある1枚のデジタルカメラの画像ファイルを各形式で保存して確認したところ、次のような結果となった。

JPEG形式 108KB BMP形式 900KB

GIF形式 112KB PNG形式 324KB

- 3 (1)JPEG形式 (2)BMP形式 (3)GIF形式
- (4)SVG形式 (5)PNG形式

9 音と動画の表現(p.16)

- 1 (1)振幅 (2)振動数 (3)Hz (4)サンプリング
- (5)サンプリング周波数 (6)量子化

- 2 (1)フレーム (2)フレームレート (3)大きい
- (4)キーフレーム

- 3 (1) $25 \times 3 = 75$ (枚)
- (2) $8000 \times 8 \times 20 \div 8 \div 1024 = 156.25$ (KB)

10 情報の統合(p.17)

- 1 (1)マルチメディア (2)WWW (3)Webサイト
- (4)Webページ (5)リンク (6)Webブラウザ
- 2 (1)デジタル化 (2)画像 (3)リンクの配置
- (4)ポータルサイト
- 3 (1)ホームページ (2)リンク

●実習問題(p.18~19)

1 略

[解説]

ワードプロセッサ(「Word」の場合)で文書を作成し印刷するには、文章を入力しながら必要な書式(書体, 文字サイズ, 画像, 段落など)も設定していく方法と、まず文章をすべて入力してあとから書式を設定する方法とがある。両方のやりかたを体験して、自分にあう方法を確認しよう。

ワードプロセッサは、メニューとリボンでいろいろな書式設定をするので、自分が使いたい書式がどのメニューやリボンにあるか覚えておくと、効率よく文書が作成できる。

ワードプロセッサの文書には、文字のほかに写真やイラストなども入れることができ、ファイル(Webのアドレス, 地図, 動画, 音声などへのリンク)も入れておくことができる。

- 2 (1)余白 (2)右揃え (3)中央揃え
- (4)ゴシック体 (5)明朝体 (6)インデント

3 略

[解説]

Webページを開き最初に表示されたトップページがホームページである。ドメイン名は、Webページの最上部にあるアドレスバー内に表示される。

<http://www.example.com/osirase/index.html>

ドメイン名 フォルダ名 ファイル名

マウスカーソルでWebページ内を動かすと、マウスカーソルが手の形になる箇所がある。ここが、リンクを設定してある場所である。ここをクリックし開いて、Webページの中でどのようなメディアが使用されているか調べることができる。

リンク図を作成するときは、リンク場所をクリックしてどんなページがあるか確認し、次の図のようにあらわしていく。